学校番号	３０１３

令和８年度　国語科

教科	国語科	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	新編「現代の国語」改訂版　（大修館書店）						
副教材等	「カテゴリー別コトバ漢字」　（浜島書店）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・現代の国語の時間では、「話す・聞く能力」「読む能力」「書く能力」を総合的に高めていきます。就職または進学を見据え、社会に出て行く上で必要となる国語の活用能力（語彙力・読解力・伝え合う力など）をしっかりと身につけていきましょう。
・家庭学習における課題は、定期的に提出してもらいます。期限を守って提出できるよう計画的に取り組みましょう。また、定期考査の範囲にも含まれます。丁寧な学習を心がけましょう。
・忘れ物をしない、あいさつや返事をしっかりとする、授業ノートをきちんと書くなど、普段の授業を大切にしましょう。このような社会人としての基礎を養うことは「人づくり・ものづくり・夢づくり」という学校目標にも掲げられています。

2　学習の到達目標

実社会・実生活におけるさまざまな活動の基盤としての、言葉の力を身につけることを目標とします。
（１）発音・発声の基本、表記のきまり、類義語の使い分け、文の組み立てとつなぎ方など、社会に出るうえで必要な国語の基礎・基本を身につける。
（２）思考力や想像力を伸ばし、国語で適切かつ効果的に表現する能力を育成し、伝え合う力を高める。
（３）進んで言語感覚を磨き、表現することによって国語の向上や社会生活の充実を図る態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使っている。	「書くこと」、「読むこと」の各領域において、生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。	言葉を通じて積極的に他者と関わったり、思いや考えを深めたりしながら、言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。 学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
一学期	発音や聞き方に注意して話したり聞いたりする。 声量や速さ、間、強弱を工夫して音読する。 ［教材］ ことばの準備体操	a：言葉の大切さを意識し、よりよい言葉の使い方を工夫しながら「話す」「聞く」「書く」「読む」活動に取り組んでいる。 c：「話す」「聞く」「書く」「読む」それぞれの活動に対して意欲をもっている。	小テスト ノート		ワークシート
	場面や目的に応じた適切な言葉や類義語を選び、使い分ける。また、正しい敬語の使い方を理解し、使い分ける。 ［教材］ ことばを選んで話そう	a：場面や目的に応じた適切な言葉、敬語の使い方、類義語のニュアンスについて正しく理解している。 b［話・聞］：場面に応じた適切な言葉や表現を工夫している。 b：［書］場面や目的に応じた適切な言葉を選び、表現のしかたを工夫している。 c：、言葉を正しく使い分けることに意欲を持ち、自分の言葉を意識している。	定期考査 小テスト ノート	定期考査 ノート	ノート
	原稿用紙の使い方や、正しく適切な表記、係り受けについて理解し、正確で整った文を書く。 また、あいまいな文や長くてわかりにくい文を避け、接続表現を使い分けながら、論理的で分かりやすい文を書く。 ［教材］ 正しく書こう 文を整え、文をつなぐ	a：書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解して使っている。 a：文の適切かつ効果的な接続のしかたを理解している。 b［書］：自分の考えやことがらが的確に伝わるように、文章の種類や語句などの表現を工夫している。 c：正しく適切で分かりやすい文を書くことを意識し、意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート
	コミュニケーションについて筆者の考を読み取り、社会生活に入るにあたっての参考にする。 ［教材］ コミュニケーションは技術だ	a：主張と根拠などの関係について理解している。 b［読］：文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 c：筆者の主張をふまえて、「現代の国語」の学習に前向きに取り組もうとしている。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	ノート
二学期	場面や目的に応じた適切な言葉や類義語を選び、使い分ける。また、正しい敬語の使い方を理解し、使い分ける。 ［教材］ 表現への扉 グラフを読む①	a：場面や目的に応じた適切な言葉、敬語の使い方、類義語のニュアンスについて正しく理解している。 b［読］内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 c：正しく適切で、分かりやすい文を書くことを意識し、意欲的に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート
	相手に伝えたいことを、わかりやすく整理して話す。 ［教材］ 伝わるように話そう	a：話し言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さなどに配慮した表現について理解して使っている。 b［話・聞］：自分の考えが的確に伝わるように、話の構成や展開を工夫している。 c：伝わりやすい話し方について意識し、意欲的に学習に取り組もうとしている。	ノート ワークシート	ノート ワークシート	ノート ワークシート

二学期	図との関係に注意しながら、文章を読み取る。 文字・図形・絵などが読者に与える効果の違いについて考える。 ［教材］ 情報の力関係	a：主張と根拠など情報と情報との関係について理解している。 情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深めている。 b：[読]文章や図形に含まれている情報を相互に関係づけながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりし、自分の考えを深めている。 c：視点や根拠に注意し、文章や図形などから必要な情報を読み取ろうとしている。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	ノート
	絵や写真などの情報を説明する文章を書く。 わかりやすい説明のしかたを身につける。 ［教材］ 絵や写真を説明しよう	a：正確にわかりやすく説明するために適切な語句を選んだり、比喩や例示などの修辞を用いたりしている。 b[書]読み手にわかりやすく伝わるように、文章の構成や展開、表現のしかたを工夫している。 c：正確にわかりやすく説明する文章を書くことに意欲をもち、積極的に学習活動に取り組もうとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート
三学期	相手や場面に配慮した言葉遣いや表現のしかたを知る。 コミュニケーションにおける言葉以外の要素の大切さを知り、対話に生かす。 ［教材］ 対話のレッスン	a：話し言葉の特色をふまえ、相手や場面に配慮した言葉遣いや表現のしかたを理解し、使っている。 b：[話・聞]相手や場面に配慮し、言葉以外の要素も意識しながら、話の内容や表現のしかたを工夫している。 c：対話の力やコミュニケーション力を高めることに関心をもち、意欲的に学習活動に取り組もうとしている。	定期考査 ワークシート	定期考査 ワークシート	ワークシート
	コミュニケーションにおいて必要な心構えについて、筆者の主張をとらえる。 ［教材］ 表現への扉	a：主張と文章構成の関係について理解している。 b[読]：内容や構成、論理の展開などについて叙述をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 c：筆者の主張をふまえて、「現代の国語」の学習に前向きに取り組もうとしている。	定期考査 ノート	定期考査 ノート	ノート

4　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　１０　）時間